

物価高騰 緊急対策を

区の物価高騰対策…政治の最大の仕事です！ エアコン設置・電気代補助や介護事業者への支援を



梅雨明けも早く、猛暑が予想されだけに、熱中症対策が緊急課題です。区では、2018年と翌年にかけて高齢者、子育て世帯等にエアコン設置助成を行いました。経費は、1500万円程度です。7年を経過しています。また、電気代を気にしてエアコンを使用しない例も少なくありません。

熱中症から命を守る緊急対策として エアコン設置、修理や電気代に補助を

緊急的な物価高騰対策といえるのは子育て施設等への物価高騰対策支援の2900万円だけです。うち区の独自負担は660万円、大部分が都支出金です。独自の物価高騰対策が見えませんが、暮らしの大変さに寄り添った支援が急がれます。

商店街の振興・小売店舗誘致へ 現行の制度を思い切って拡充、活用を

現在の区の商店街、商業支援に施策をもっと使いやすく、対象を拡大するなど改善を求めました。

区の「商業サービス事業継続力強化支援事業補助(上限100万円、2分の1補助)」で区内事業者を使った場合の店舗改装、設備更新には、補助率を引き上げるべきです。これで区内建設設備関連事業者への支援にもつながります。

また、宮ノ前商店街に適用されている、「新規出店100万円上限で6分の5補助、家賃月10万円12ヶ月」など「特定商店街における出店支援事業」を他の商店街や商店空白地域などに思い切って対象要件を拡大して、出店を誘導してはどうでしょうか。いずれも少ない予算で大きな効果を生む可能性があります。

区内商店街の衰退にいま手を打たなければ、買い物困難者・困難地区を生み、地域全体の衰退にもつながります。

区は、計画策定も拒否するなど消極的なものでしたが、引き続き地域から声を上げて、地域の活性化、商店街振興の道を切り開くため、力を尽くします。



理と電気代補助の実施は緊急課題です。区は、エコ助成で対応しているといいますが、要件に合ったエアコンはやはり高額です。低所得層でも購入できる制度に補助額も含めて改善するよう求めました。

事業名	予算額(区の負担)
子育て施設等 物価高騰対策	2,966万1千円
私立幼稚園・保育園などへ水光熱費、食材費など補助	
財源は、都が約2300万円支出、区は、約669万円	

区内福祉施設へ物価高騰緊急支援金支給を

2024年度の報酬改定は、全体として介護1.59%、障害1.12%の引き上げにとどまる一方、介護保険の訪問介護報酬は引き下げでした。全国的に、訪問介護事業の休業率は44.8件(同的に24.4増)と全体の7割以上しかも10数人の小規模事業所が圧倒的です。荒川区内でも23年度末57事業所が24年度末には53に減少しています。



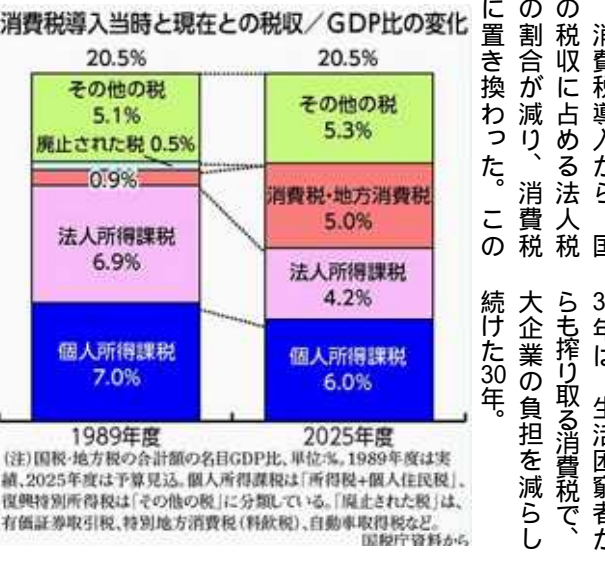
物価高騰によるコスト増と収入の減少・低賃金による働き手不足とヘルパー等の高齢化などで事態はますます悪化しています。

世田谷区では、特別養護老人ホームや訪問介護事業所、障害者のための施設や在宅サービス事業所など、区内の高齢者・障害者施設へ昨年度から緊急給付金を支給しています。

品川区は、基本報酬が引き下げ前との差額分を補填する支援を2027年度の次期改定までの臨時措置で、1事業所につき年間120万円になる見込みで差額分を穴埋めする給付制度を実施しています。

区内福祉施設の実態を調査し、緊急支援金の給付を求めました。

今週のデータ 消費税は減税・廃止で暮らしと経済の立て直しを



世界の「味覚の穴場」に荒川区

「まちの話題あれこれ」

人気旅行サイト「Airbnb」が選んだこの夏行きたい世界の「味覚の穴場」に東京の荒川区が選ばれました。「まさかの選出に驚きの声が上がったのは東京の下町・荒川区」との記事がネットで飛び込んできました。場所は、ジョイフル三ノ輪です。この夏の「味覚の穴場」に荒川区が世界中から選出された10都市の1つに選ばれたのです。何が

Arakawa City, Japan, is Situated in eastern Tokyo. ramen and gyoza classic arcade with traditional

0:56 / 5:11